

那須塩原市議会だより

ぎかいのひととき

9月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。

2018.11.5 No.76



特集
塩原温泉女将の会
×
市議会

MENU

- 特集……………P 2
- 税金の使い方を確認しました……P 4
- こんなことを審査・調査しました…P 6
- こんなことを聞きました……P12
- Future……………P20

特集

塩原温泉 女将の会 × 市議会



豊富なアクティビティと 温泉を楽しもう



塩原温泉旅館協同組合女将の会は、女将同士の親睦や情報交換、塩原温泉のPR、お客様のおもてなしを目的に活動しています。また、見聞を広め勉強する研修、各種イベントでの出迎えや茶菓子の接待、他地域での観光キャラバンなどを行っています。

<出身地はどちらですか。>

それぞれ東京都、鎌倉市、栃木市、地元塩原です。

<塩原の最初の印象は。>

遊ぶ場所もなく寂しかった。冬は、とても寒く、水も冷たく、雪が多くてびっくりしました。でも徐々に寒さにも慣れてきて、自然豊かで、高原野菜など美味しくて今は大好きです。寒さに慣れるまで3年ぐらいかかりました。(笑)

<女将の会の活動内容は。>

観光客に春の「おふくわけ」でお餅を配ったり、5月のぼたんま

つりでお茶を振る舞っています。その他では、研修旅行などを行っています。かつては上野駅などで塩原高原大根 200本を配布したこともありました。当時は行列が出来るほど大盛況でした。

<塩原の魅力は？>

なんといっても豊富な温泉です。温泉の全9種類のうち、塩原温泉には6種類の温泉があります。色も7色あり、豊富な温泉が楽しめます。その他、個性豊かな滝、夏には渓谷を利用したアクティビティが最近盛んになってきました。塩原の魅力的な情報を発信し



近寄り難い存在だったが、 身近に感じられるようになってきた

ているせいか、海外からも観光客が訪れています。これからは塩原にしかないスポーツを取り入れていきたいと考えています。グルメの魅力としては、春は高原野菜のとりカブ、ほうれん草、秋には塩原高原大根がとても人気があり、直売所ではすぐに売れ切れてしまいます。旅館では季節の食材を使い、創意工夫して提供しています。

<女将のやりがいは>

「良い温泉だった。」「疲れが取れて良かった。」「また来るね。」とお客様からお褒めの言葉を言ってもらえることが嬉しいです。

<大変なことは>

震災後から人手不足で、仲居さんや板前さんなど、なかなか人が見つからないことが今、1番の悩みです。それによって旅館での女将の負担が多くなった事です。

<他地域の女将同士で情報交換することは。>

草津温泉や伊香保温泉の女将の会と交流したことで、女将の会のオリジナルグッズの販売や、インターネットの活用方法などが勉強になりました。

<デスティネーションキャンペーンの効果はどうでしたか。>

CM効果により九州や関西地方からのお客様が訪れるなど、遠方からの観光客が増えました。

<市議会議員にはどのようなイメージを持っていますか。またどんなことを期待していますか。>

近寄り難い存在でしたが、知り合いが多くなってきて身近に感じられるようになってきました。小さい問題をくみ取って市民の代弁者として頑張ってもらいたいです。そしてどんどん塩原に立ち寄ってほしいです。

税金の使い方を確認しました

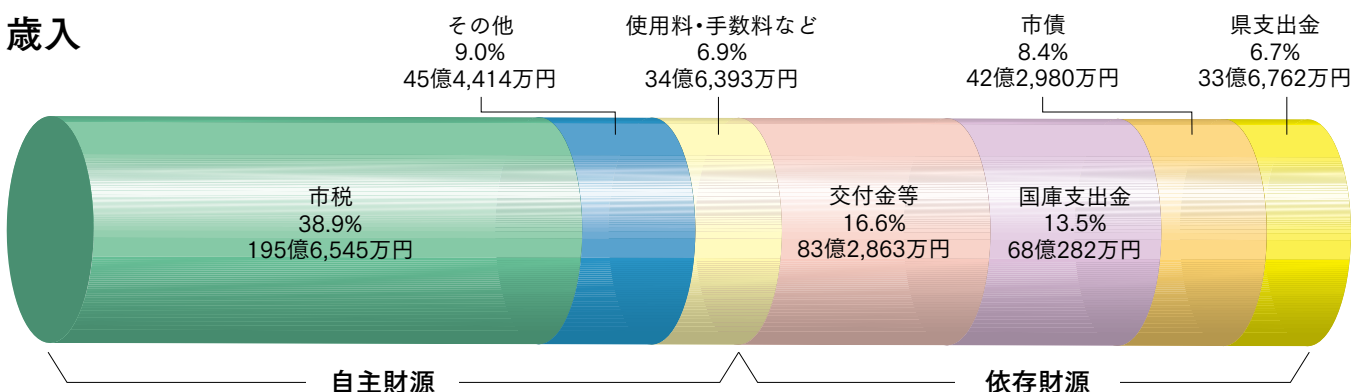
一般会計・特別会計
歳入歳出決算
総額742億円を認定

一般会計、特別会計、水道事業会計の9会計の歳入歳出決算について審査を行いました。
 予算執行状況や行政効果の確認などを基本に審査した結果、各会計とも適正に処理され、財産管理および基金の管理運用等についても、適正な執行を確認し、9会計すべて認定すべきものとなりました。
 一般会計の決算は、平成28年度と比べて、歳入は6.3%、歳出は5.7%増加しました。
 特別会計では、歳入で2.8%、歳出で1.6%増加しました。なお、すべての会計において黒字決算となっています。
 使い道の一部を次のページで紹介します。

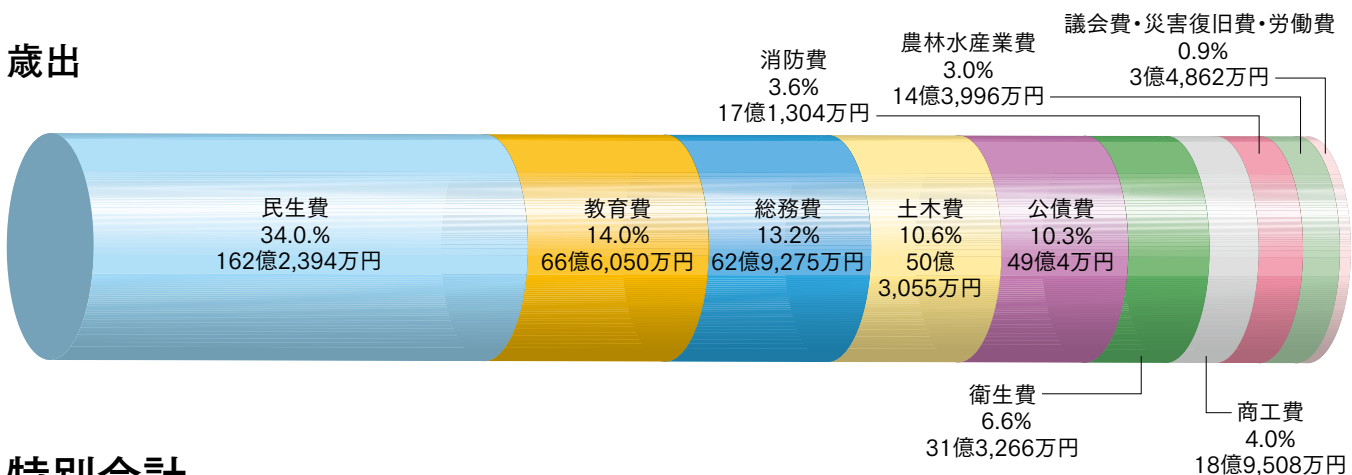
一般会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	503億 239万円	476億3,714万円	26億6,525万円

歳入



歳出



特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	163億4,918万円	150億2,935万円	13億1,983万円
後期高齢者医療特別会計	10億7,034万円	10億6,240万円	794万円
介護保険特別会計	80億5,251万円	75億 786万円	5億4,465万円
下水道事業特別会計	28億7,308万円	28億4,322万円	2986万円
農業集落排水特別会計	1億1,373万円	1億 698万円	675万円
温泉事業特別会計	7,200万円	6,031万円	1,169万円
墓地事業特別会計	650万円	397万円	253万円
合計	285億3,734万円	266億1,409万円	19億2,325万円

水道事業会計

収益的収入	28億5,573万円	収益的支出	24億9,796万円
資本的収入	5億4,269万円	資本的支出	14億4,373万円

皆さんの税金の使い方の一部です

※1万円未満は切り捨て

総務費 62億9,275万円



アートを活かしたまちづくり戦略策定事業費	86万円
ゆーバス・予約ワゴンバス運行費	2億413万円
広域公共交通事業費	606万円
協働のまちづくり推進事業費	470万円

民生費 162億2,394万円



高齢者自立対策・生活支援費	1億3,584万円
高齢者生きがいと健康づくり支援費	815万円
子育て短期支援費	93万円

教育費 66億6,050万円



共英学校給食共同調理場改築事業費	6億 330万円
小学校エアコン整備事業	2億7,200万円
教職員ネットワークシステム管理費	1億3,224万円

商工費 18億9,508万円



黒磯駅周辺地区都市再生整備計画事業費	4億6,725万円
企業誘致事業費	828万円
観光局支援事業費	1億5,756万円
商工イベント支援事業費	3,673万円

決算についてこんなことを確認しました

(一部抜粋)

問 地域おこし協力隊の報酬の予算額が796万8,000円だったが、決算額で大幅に減額になった理由は。

答 年度を通して隊員として任命する予定で募集をかけたが、年度途中での採用となったため、人件費に違いが生じた。

問 子育て短期支援費について、前年度より利用者が2倍近く増加している。急激な増加に対し支援が足りているのか。

答 虐待に発展する前に兆候の見える家庭に対して支援を行うことや医療養育支援訪問の評価をして、今後予算化を図りたい。

問 観光局支援事業費の内容について伺う。

答 首都圏や鉄道関係へのPR活動、デスティネーションキャンペーンに関する費用および市内に3つある観光協会の事業に対する補助金として支出している。

こんなことを審査・調査しました

総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など

【委員】◎齊藤誠之○吉成伸一、田村正宏、小島耕一、森本彰伸、鈴木伸彦、高久好一、君島一郎、玉野宏

那須塩原市補助金等審査会条例の制定

問 補助金等審査会は、新規の補助金等だけではなく、合併前から継続して交付している補助金等についても審査をするのか。

答 新規だけではなく、合併前からのものを含めた既存の補助金等、約210件を審査する予定である。

那須塩原市公告式条例の一部改正

問 規則の公布を市長の署名から、記名押印に変更し、手続きを簡略化することだが、年間何件程度が簡略化される見込みなのか。

答 平均で年間40件程度の規則の公布があり、その手続きが今回の改正で簡略化される。

那須塩原市税条例等の一部改正

問 合計所得金額が2,500万円以上の高額所得者に対する調整控除がなくなるということだが、対象者数と増収効果は。

答 対象者はごく少数であり、増収効果はほとんど見込んでいない。

財産の取得

問 昨年度、小型ポンプ積載車2台を約1,961万円で購入したが、今回はそれよりも高い約2,147万円となった理由は。

答 車両本体の価格が上がったことと、ドライブレコーダー、バックモニターを追加したため。

所管事務調査

黒磯駅周辺、旧青木家那須別邸、板室温泉大黒屋を訪れ、アートを活かしたまちづくり戦略の事業の推進方法について、執行部から説明を受けました。



板室温泉大黒屋の倉庫美術館

福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど

【委員】◎佐藤一則○星宏子、山形紀弘、相馬剛、平山武、大野恭男、金子哲也、山本はるひ、中村芳隆

つどいの広場運営業務委託

問 債務負担行為として計上されている、黒磯地区のつどいの広場運営業務委託の積算根拠を伺う。

答 2.5人分の給与、修繕費、保険料、消耗品費、印刷製本費、建物賃借料、通信運搬費、光熱費、研修費、事務経費等を計上している。

元気アップデイサービス管理運営費

問 利用者の延べ人数が平成28年度と比べ、減少となった理由は。

答 事業を利用できる回数を週2回から1回に見直したためである。平成28年度までは2回利用できたが、平成29年度からは、総合事業が始まり、原則週1回の利用となっているため、同じことを目的としている元気アップデイサービス事業も週1回とすることに変更したために人数が減ったものである。

小学校市採用教師配置費

問 配置費が減額になった理由と前年度10人だった常勤の学習支援教師が0人になって学校運営の面で、生徒たちに影響はなく授業はできたのか。

答 各小学校でも以前に比べ苦しい状況が起きており、支障が無いとは言えない。非常勤教師は5時間45分の勤務であり、学級担任などとの連携をとるための相談に、時間が限られるといった面から学校としては常勤でいた方がありがたい。与えられた範囲で運営をしていくしかないという状況である。

建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など

【委員】◎松田寛人○齋藤寿一、中里康寛、星野健二、櫻田貴久、伊藤豊美、眞壁俊郎、相馬義一

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

問 クリーンセンターへの一般家庭系ごみおよび事業系ごみの搬入手数料を10kg 100円から150円に改正する経緯を伺う。

答 那須塩原市は他市町に比べて、事業系の一般廃棄物が非常に多い。ごみの減量化および資源化を促進するきっかけとなるよう、一般廃棄物処理基本計画の中で値上げの方針を定めた。また、指定ごみ袋の価格は変えないが、家庭系粗大ごみなどの大量搬入の抑制や、事業系ごみを家庭系ごみとして搬入されることを抑止するため、両方の搬入手数料を値上げするものである。現在、ごみの処理コストは10kgあたり、250円かかっている、急激な値上げは、事業者の大きな負担になるため、60%程度の値上げで設定した。これにより、事業系ごみについては、30%の減量化を目標としている。

平成29年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分

問 剰余金が発生せず、水道事業会計に係る資金不足比率が生じる場合、どのような事態が想定されるの

か。また、平成29年度の資金残高は安全な水準にあると考えてよいのか。

答 資金不足が生じる事態とは、不測の大災害などで現金支出を余儀なくされる場合が考えられる。また、平成29年度決算において、利益剰余金の残高は約17億円あり、資金的には余裕があると考えている。

所管事務調査

陳情の審査に先立ち、豊浦地区市道芋久保線と黒磯駅東西連絡通路の陳情箇所を現地視察を行った。



黒磯駅東西連絡通路

予算常任委員会

【委員】◎齋藤誠之 ○佐藤一則 ○松田寛人、その他全議員

平成30年度那須塩原市一般会計補正予算

問 公共施設等有効活用基金に2億円を積み立て、補正後の基金の残高が約14億6,000万円になる予定との説明があったが、今後基金をどのように増やしていく予定か。

答 財政状況が厳しいところもあり、毎年定額を積み立てることは難しい。繰越金等が確定した段階で、可能な額を積み立てていかざるを得ない。

問 民間保育施設運営支援費補助金のICT化推進事業の内容は。

答 私立保育園、認定こども園、地域型保育事業所に対し、保育に関する計画や記録、園児の登園・降園の管理、保護者との連絡に関する機能がパッケージとなったシステムを導入するための補助金である。

問 つどいの広場運営開設準備として、現在と異なる事業者が受託した場合に備えて140万円計上しているが現在と同じ事業者が受託した場合は、この費用は必要ないということか。

答 同じ事業者であれば不要になることから、使用がなくなることも考えられる。

問 観光誘客促進事業で、冬期の温泉地誘客対策として、さいたま市から本市まで直行バスの運行を行うとのことだが、事業の概要および経緯を伺う。

答 事業期間に15回の運行で、1回あたり20人、合計300人の誘客を見込んでいる。さいたま市からバスが出て、関谷にある観光局に停車し、そこから板室温泉または塩原温泉に向かうコースを組んでいる。参加負担金として往復4,000円を負担してもらう。事業の経緯は、さいたま市が、東日本で新幹線停車駅がある自治体と連携した事業を展開しており、新幹線で1時間程度の駅ということで、本市と上田市、みなかみ町をターゲットに交流を図っている。基本的にさいたま市民をメインにPRを行う。

討論

契約の締結について

賛成 ●平成 29 年 7 月 4 日、地方共同法人日本下水道事業団と黒磯水処理センター新管理棟建設工事委託契約で、本来議決が必要であったが、議決を待たず契約は無効の状態、追認議決を求めている。本事業の必要性と混乱を回避するため、賛成する。(相馬 剛議員)

反対 ●討論者なし

平成29年度那須塩原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

賛成 ●実質単年収支では、黒字決算となり、3年連続赤字決算から黒字へと回復している。また、国保税全体の収納率は2.04%アップしており収納対策の強化が図られている。さまざまな取り組みにより医療費の適正化が認められている。(山形 紀弘議員)

反対 ●524人の市民が保険証を取り上げられ、苛酷な医療費10割負担を強いられていた。加入者1人当たりの財政調整基金は、一桁や二桁のまちがある中、本市は3万5,700円である。高くて払いきれない国保税を引き下げ、がん検診の一部負担金を無料化すべき。(高久 好一議員)

平成29年度那須塩原市一般会計歳入歳出決算認定について

賛成 ●平成 29 年度決算は、予算の効率的な執行と将来への備えを考慮した財政運営が執行されたものである。予算編成や執行に支障が出ることなく財政運営が行われたことは、当初予算のキーワード「市民優先」のまちづくりを進められてきたもので、評価できる。(森本 彰伸議員)

反対 ●深刻な保育士不足の中、保育職員の7割を臨時職員が占めており、繰り返し採用者は本採用にし、早急に保育現場を改善すべき。見劣りが目立つ子ども医療は、至急18歳まで窓口無料化すべき。情報漏えいの危険があり、無駄遣いのマイナンバーは早急に撤退・廃止すべき。(高久 好一議員)

那須塩原市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定について

賛成 ●討論者なし

反対 ●下水道事業の追認議決を行った責任として、市長および副市長の給料を10%減額するものだが、給料の減額で解決する事案ではない。「意識の改革」、「チェック体制のマニュアル」など、改善案を議会に示し、開かれた市政運営の取り組みをもって責任を果たすべき。(相馬 剛議員)

陳情の審査結果

No.	受理年月日	件名	請願者住所・氏名	結果
1	H30.8.17	難病医療費助成制度の改善を求める国への意見書提出に関する陳情書	〒320-0017 宇都宮市戸祭台 29-17 栃木県保険医協会会長 長尾 月夫	不採択
2	H30.8.17	患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出に関する陳情書	〒320-0017 宇都宮市戸祭台 29-17 栃木県保険医協会会長 長尾 月夫	不採択
3	H30.8.27	豊浦地区市道芋久保線舗装に関する陳情	〒325-0023 那須塩原市豊浦 15 番地 95 岡本 幸司	不採択
4	H30.8.27	黒磯駅東西連絡通路に関する陳情	〒325-0023 那須塩原市豊浦 15 番地 95 岡本 優伸	採択

各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件のみ記載しています。

会派名	那須塩原クラブ								公明クラブ				敬清会		志絆の会		自民クラブ	フロンティアなすの	那須青山会	日本共産党	かがやき	採決結果					
議員名	山形 紀弘	中里 康寛	森本 彰伸	齊藤 誠之	佐藤 一則	相馬 剛	松田 寛人	伊藤 豊美	君島 一郎	田村 正宏	星野 健二	星 宏子	吉成 伸一	大野 恭男	相馬 義一	玉野 宏	鈴木 伸彦	眞壁 俊郎	金子 哲也	櫻田 貴久	中村 芳隆		小島 耕一	齋藤 寿一	平山 武	高久 好一	山本はるひ
陳情第3号	■患者負担を増やさないことを求める国への意見書提出に関する陳情書																									不採択	
	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		○
陳情第4号	■豊浦地区市道芋久保線舗装に関する陳情																									不採択	
	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×		○
認定第1号	■平成29年度那須塩原市一般会計歳入歳出決算認定について																									認定	
	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×		○
認定第2号	■平成29年度那須塩原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について																									認定	
	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×		○
議案第90号	■那須塩原市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定について																									否決	
	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	×		○

【○】は賛成 【×】は反対 ※中村芳隆議員は、監査委員のため、決算認定の採決には加わりません。

市議会って? Q&A

～素朴な疑問にお答えします～



Q 会派って何？



Q 那須塩原市議会の会派は、どんな活動をしているの？



A 会派とは、考えの近い議員が共通の考えや政策を市政に活かしていくための集まりです。那須塩原市議会の場合は2人以上で会派を組むことができます。

A 現在、那須塩原市では、6つの会派が組織されています。会派内の考えをまとめることで、議会の運営をスムーズにする効果もあります。会派内では、勉強会や協議会を行い、意思の疎通や議員一人一人の資質の向上にも努めています。

議案の審査結果

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第 6号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
議案第68号	平成30年度那須塩原市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第69号	平成30年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第70号	平成30年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第71号	平成30年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第72号	平成30年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第73号	平成30年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第74号	平成30年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第75号	平成30年度那須塩原市墓地事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第76号	平成30年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第77号	平成30年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第78号	那須塩原市補助金等審査会条例の制定について	可決
議案第79号	那須塩原市公告式条例の一部改正について	可決
議案第80号	那須塩原市税条例等の一部改正について	可決
議案第81号	那須塩原市都市計画税条例の一部改正について	可決
議案第82号	那須塩原市手数料条例の一部改正について	可決
議案第83号	那須塩原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第84号	那須塩原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	可決
議案第85号	契約の締結について	可決
議案第86号	契約の締結について	可決
議案第87号	契約の締結について	可決
議案第88号	財産の取得について	可決
議案第89号	平成29年度那須塩原市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
認定第 1号	平成29年度那須塩原市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 2号	平成29年度那須塩原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 3号	平成29年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 4号	平成29年度那須塩原市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 5号	平成29年度那須塩原市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 6号	平成29年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 7号	平成29年度那須塩原市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定

議案番号	件名	結果
認定第 8号	平成29年度那須塩原市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 9号	平成29年度那須塩原市水道事業会計決算認定について	認定
発議第 5号	那須塩原市議会会議規則の一部改正について	可決
発議第 6号	議員の派遣について	可決
発議第 7号	決算審査特別委員会の設置について	可決
議案第90号	那須塩原市長及び副市長の給料の特例に関する条例の制定について	否決
議案第91号	契約の締結について	可決
認定第92号	契約の変更について	可決
発議第 8号	事務執行の適正な運用を求める決議	可決
発議第 9号	議員の派遣について	可決

議会報告会・意見交換会

なしおふれあいトーク

第1部

議会報告

第2部

意見交換会

開催日	開催時間	開催場所	テーマ	参加者
11月13日(火)	午後6時30分 ～8時30分	南公民館	数字から見る協働のまち	総務企画常任委員会委員
		鍋掛公民館	子どもの未来のために	福祉教育常任委員会委員
		稲村公民館	空き家等の対策について	建設経済常任委員会委員



議会フォーラム2018



開催日	開催時間	開催場所	テーマ	参加者
11月17日(土)	午後1時30分～4時	東那須野公民館	那須塩原で必要なまちづくりとは	全議員



公明クラブ
吉成 伸一議員



西日本豪雨などから学ぶ災害対応について

問現在の防災ハザードマップは、どのように活用されているのか。

答市長 自治会を通じて配布したほか、各庁舎や公民館に備えて、転入者や希望者などにも配布をしている。各家庭や施設、店舗などにおいて、災害リスクの把握や避難所の確認などに利用されていると考えている。また、マップの作成に当たっては、防災の心得、避難所の位置をはじめ、浸水想定区域や冠水危険区域のほか、土砂災害警戒区域などを一体的に表示するなど、見やすさ、使いやすさなどに配慮した。

問災害によっては、指定避難所に適していない場所があるが、災害別避難所を指定する考えは。

答市長 避難場所および避難所は、現在、災害種別の指定はないが、一部の避難所に関しては指定が必要と思われる箇所がある。早期に実施できるよう取り組む考えである。

学校が地域を元気にできる

問地域学校行動本部の活動内容と設立への取り組みについて伺う。

答市長 今年度の地域学校協働本部の活動は、地域と学校が連携して行ってきた活動を継続しているほか、新たにコミュニティ運動会への中学生の運営協力や、小・中学生、地域の人が連携した花いっぱい運動などが行われた。次年度以降予定している地域学校協働本部の設立に向けて、関係者との協議により準備を順次進めている。



フロンティアなすの
齋藤 寿一議員



塩原温泉、板室温泉の観光振興について

問デスティネーションキャンペーン（以下 DC）の実施内容と実績について伺う。

答市長 DCでは、プレDCの観光局を中心に展開した、いちごとみるくフェア、朝食イッピン物語に、巻狩鍋フェア、那須塩原地酒物語を加え、地元食をPRする4つの企画に取り組んだ。期間中の入り込み客数は前年比で2%ほど減少、宿泊客数は0.3%の微増で、全国的に観光客の客足が鈍る中で、本市は健闘したと捉えている。

問観光局の今後の取り組みは。

答市長 定期的に観光戦略会議を開催し、地域の観光関係者とともに戦略を練りながら観光誘客に取り組んでいる。

問サンリオのハローキティとの今後のコラボレーションの内容は。

答市長 サンリオのハローキティについては、年間を通し最も旅行者が多い夏の誘客戦略として、タイアップしたキャンペーンを継続し定着を図ってきた。

問観光マスタープラン策定に向け今後の予定は。

答市長 今後2年間で、地元関係者のほか、観光事業者や観光客を対象にアンケートやヒアリングを行い、地元と外部の双方の視点から現状と課題を整理する。その後、地元の観光関係者なども含めた検討委員会を設置し、観光ビジョンや目標などを協議していきたい。



佐藤 一則議員



自主防災組織・消防団などとの連携は

問災害対策本部が設置される本庁舎・支所が被災した時、応急対策本部の実施体制について伺う。

答市長 業務継続計画震災編において黒磯文化会館を本庁舎の代替施設として定めた。

問災害発生時および発生するおそれがある場合、職員が参集する基準は明確にされているか伺う。

答市長 災害の内容、規模、時期などに応じて、初動体制を定めている。

問避難勧告の伝達方法は確立されているか。

答総務部長 緊急時はエリアメール、みるメールのほか、広報車による巡回、自主防災会長や自治会長には本部から電話連絡を予定している。

問消防団の組織強化の取り組みについて伺う。

答総務部長 団員確保のため、消防団協力事業所の表示制度や、登録された店舗で優遇が受けられる消防団応援制度を導入しているほか、イベントで消防団のPRを行っている。

農業を活性化させるための取り組みは

問園芸作物の振興における支援内容を伺う。

答産業観光部長 園芸作物の生産費用を助成するもので平成30年度から補助対象品目を園芸作物全般に拡充し、市単独補助として約1,200万円の補正予算を計上したところである。

問環境保全型農業直接支払交付金制度の内容は。

答産業観光部長 化学肥料、農薬を5割以上低減するとともにクローバーなどを作付した際や、有機農業の取り組みなどに対し10アール当たり8,000円が交付される。



中里 康寛議員



建設働き方改革としての工事書類簡素化について

問国や県における工事書類の簡素化について、本市はどのように考えているか。

答市長 国・県においては、書類作成に要する労力の軽減、受注者・発注者双方の業務の効率化を図るため、工事関係書類の簡素化を進めている。本市でも過度な工事書類の提出は、受注者の負担となり、必要最小限にすべきものと考えている。

問発注者として、現場における工事目的物の品質確保や生産性の向上に対する影響を考えながら、業務改善に取り組む考えはあるか伺う。

答市長 工事書類は、公共工事の品質を確保するため、提出を求めているが、今後、書類の必要性を明確にし、より一層改善に取り組む。

安全で安心な水道サービスについて

問平成29年の総配水量に対する無効水量の割合は約21.7%で、無効水量の割合が高いが、漏水との関連性も含め伺う。

答上下水道部長 全国や栃木県の平均に比べると高い状況となっている。漏水件数を減らすための老朽管の更新や漏水調査を継続して実施し、無効水量の抑制に努める。

問配水管の更新状況について伺う。

答上下水道部長 配水管の更新状況は、平成29年度末で石綿セメント管の約80%が更新済みで、老朽铸铁管についても更新工事を実施しており、本年度で完了する見込みである。

平成30年度
那須塩原市の水道



那須塩原市水道事業



森本 彰伸議員



日本遺産！明治貴族が描いた未来

問 今後、日本遺産関連施設の整備計画を作成する予定があるのかを伺う。

答 市長 那須野が原の歴史や魅力を発信するため、那須野が原博物館の施設整備を予定している。また、本市、大田原市、矢板市、那須町にある道の駅に、ストーリーや構成文化財の案内、情報発信のための電子掲示板の設置を予定している。日本遺産のストーリーを構成する文化財については、整備計画を作成する予定はないが、構成市町とも連携しながら検討していく。

問 児童生徒に、地域の歴史として今回の日本遺産について教えていく考えはあるか伺う。

答 教育部長 日本遺産を取り入れた副読本を作り、小学校3、4年生の社会科の授業に生かし、学校でも日本遺産に取り組んでいきたい。

緊急対応が求められる“ひきこもり対策”

問 どのような手法で調査研究を行っていくのか。

答 保健福祉部長 内閣府が、19歳～39歳を対象に実施した調査結果で、54万人という数字が出ている。今年度、40歳～59歳についても調査研究をすると聞いている。この調査研究を踏まえ、国や県の動向を注視し、先進事例の研究などをしていきたい。

問 有識者を集めて、対策協議会を作ってはどうか。

答 保健福祉部長 医療機関、県北健康福祉センター、市障害者相談支援センター、精神障害者を主に扱っている福祉事業所などと連携して、多面的な支援ができないか考えている。



山形 紀弘議員



那須塩原ブランド認定制度について

問 那須塩原ブランド認定制度の取り組みを開始してからの成果と課題について伺う。

答 市長 那須塩原ブランド認定品の売り上げ向上のほか、ブランド認定事業者からは、那須塩原ブランドに認定されている商品であるということ、優位な商談が行えたという報告がある。課題は、市民にも生産者にも那須塩原ブランド認定制度の認知度が低いと感じており、今後も継続して周知を図っていく必要があると考えている。

問 那須塩原ブランド認定制度を今後どのように検証し発展をさせていくのか伺う。

答 市長 来年度、制度開始から10年目を迎えることから、ブランド認定による売り上げへの貢献度や商談への効果を検証をしたいと考えている。今後は、市内には魅力的な特産品が数多くあり、那須塩原ブランド認定数をさらに増やす努力を行い、ブランド認定品のより効果的なPRなどによるさらなる売り上げ向上、知名度向上に取り組んでいきたい。

問 那須塩原ブランド認定品を一同に集めて購入する場所を作る考えはあるのか伺う。

答 産業観光部長 特設コーナーなどを設けて販売できるか調整していきたい。

問 ふるさと納税の返礼品に那須塩原ブランド品を積極的に活用しているのか伺う。

答 企画部長 現在10品目が、ふるさと納税の返礼品となっている。





山本 はるひ議員



行政サービスのアウトソーシング（外部委託）

問行政サービスを委託する基準は。

答市長 事務事業全般にわたり民間委託などを推進する考えで、市民サービスが低下しない、守秘義務の確保を図るなどを判断基準にしている。

問窓口業務を外部委託する考えはあるか。

答市長 先進事例を参考に導入可能かどうか検討していく。

問国では「窓口業務の外部委託は労働者派遣に該当しないように留意する」とあるが、考えは。

答企画部長 一括の業務委託が良いのか派遣が良いのか、判断する必要がある。

問指定管理者制度導入施設の決定、判断基準は。

答市長 住民サービスの向上、管理運営費の節減が図られるという観点で判断している。

問今後の施設への導入の考えは。

答企画部長 公民館、博物館、保育園、児童クラブは直営や民営化、法人委託などの形をとっているため、指定管理者の運営に移っていない。

駅前図書館開館後の管理運営は直営に

問指定管理者による運営を直営に戻すとのことだが、指定管理にして7年間の総括を伺う。

答教育部長 経費は毎年5,000万円強節減されている。休館日減、開館時間延長、赤ちゃんタイムや読書通帳でサービス向上につながっている。

問良いことづくめなのに直営に戻す理由は。

答教育部長 黒磯図書館は、これまでとは異なる施設になるため、管理、運営を精査して検討していきたい。当面は直営を考えている。

アウトソーシング（外部委託）とは

市役所内部で行っていた窓口業務などを民間に委託して行うこと。市では、「業務委託や人材派遣を活用し、低コストで効率的な業務遂行を実現するため、職員はコア業務に注力する」を目標に定めている。



金子 哲也議員



伝統文化である武士道精神をもう一度見直そう

問学校の先生に、新渡戸稲造の「武士道」を読んでもらい、日本古来の武士道や侍精神を子どもたちに伝えていくことで、日本独特の勇気や忍耐や慈悲の心を醸成することができないか。

答市長 太平洋の橋になりたいという志を持っていた新渡戸稲造の「武士道」、あるいは明治維新の原動力となった若き武士たちを教え導いた吉田松陰の言葉を初め、偉人の残した言葉には現代の教育にも通じるすばらしい教えがあると考えている。教職生活全体を通して、学び続けようとする本市の先生は、今後さまざまな研究を通して成長し、本市が進める人づくり教育をさらに充実をさせてくれるものと期待をしている。

答教育長 新渡戸稲造氏の著書「武士道」には、さまざまな道徳的要素が記されている。日本古来の武士道精神に限らず、さまざまな道徳的価値について書物を通じて触れることは、教員の資質向上につながると考えられる。

偉人の残した言葉を子どもに毎日朗唱させよう

問偉人の残した言葉や、古くから伝わる人の道を説く文章などを、子どもたちが毎朝朗唱し、それが自然に身につくような教育ができないか。

答教育長 小学校では、国語の授業の一環として、いにしへの言葉や名言、古典作品などを全員で声を合わせて読む群読が行われている。群読を通して、子どもたちに先人の教えや知識・知恵、日本人としてのアイデンティティーなどが育まれていくものと考えている。



相馬 剛議員



那須水害から 20 年、水防対策について

問水防計画の平成 29 年度改訂版が 3 月に策定されたが、河川の洪水、内水の警戒など、公共の安全と災害対策について伺う。

答市長 水防計画では、居住者の義務として水防への協力をいただく。また、県が指定する重要水防箇所は護岸工事完了により 6 カ所のうち 4 カ所は、指定解除および解除予定である。残る 2 か所は積み土のう工法で対処する。豪雨時の内水の監視体制は、市職員、消防団員などがパトロールする。予報・警報については、洪水に関し流域雨量指数で判断する、特別警報は、数十年に一度の降雨量が予想される場合に発表する。水防協力団体は監視・警戒の協力と資材や設備の提供を行うものだが、現在本市での指定はない。

答総務部長 水防倉庫は昭和 30 年代の計画で、現在は水防の補助的役割に代わっており、協議の結果、表の資材一覧に代わった。当面、水害の防御、被害の軽減にはこの体制で当たりたい。

全国体力・運動能力調査と市の取り組みは。

問全国体力・運動能力・運動習慣等調査の本市の小学 5 年生と中学 2 年生の状況および全国平均と比較しての結果と今後の取り組みは。

答教育長 男女とも体力合計点では全国平均を上回っているが、握力、柔軟性、走力に課題がみられる。平成 25 年度から各学校で体力向上計画を立てて意図的に取り組んでおり、平成 29 年度は過去 5 年間で最高の合計点となった。今後、体力テストに対する先生の意識を高めることがポイントであると考えている。



田村 正宏議員



長寿化時代のセーフティネットについて

問生活保護および生活困窮者自立支援の現状と長寿化に伴う課題について伺う。

答市長 平成 30 年 7 月末において、756 世帯 928 人が生活保護を受給している。高齢世帯の増加および保護受給期間の長期化による受給費の増加への対応が課題である。

問本市の受給率は全国平均の半分以下である。本来生活保護を受けるべき人が受けられていないということはないか。

答保健福祉部長 国の定めた基準に従って適切に運用しており、特に本市の運用が厳しいということはない。

問生活保護のケースワーカーや徴税担当者に、経験豊かな再任用の職員を配属する考えは。

答保健福祉部長 ケースワーカーのような仕事は、人生経験が大ききものをいう時があり、再任用者の配属は望ましいと考える。

問セーフティネットとしての市営住宅の必要性和長寿化に伴う課題について伺う。

答市長 住宅に困窮する市民にとって必要であり、バリアフリー化への対応が今後の課題である。

問公益財団法人日本フードバンク連盟の認証要件を満たして活動している、とちぎボランティアネットワーク傘下のフードバンク大田原との連携を強化する考えは。

答保健福祉部長 フードバンクは生活困窮者にスピーディーに食品を届けるなど公共性の高い事業であり、必要に応じて連携を図っていきたい。





星野 健二議員



中小企業の支援について

問本年6月に施行された生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入計画について、本市では何社の申請があったのか、また、この制度を市内の中小企業に対しどのように情報提供したのか。

答市長 8月末時点で9件の申請があり、ホームページでの周知のほか、市内の商工会および金融機関へ情報提供した。

問今後中小企業の事業承継をどのように支援していくのか。

答市長 今年度、新たにプッシュ型事業承継支援高度化事業の重点支援地域の指定を受けたことにより、事業引継ぎ支援センターおよび市内の商工会において事業承継診断が開始された。診断により掘り起こされたニーズに対し、関係機関や地域の専門家との連携の上、円滑な事業承継に向け支援していくとともに、市としての新たな支援策についても検討していきたい。

奨学金の返済支援について

問地域の人材確保策として、市内企業に就職する若者を対象とするなど一定の基準を設けて、本市独自の奨学金の返済支援を行ってはどうか。

答教育部長 奨学金の返済支援は、地域の人材確保や若者の地方定着に向けた施策の一つとして、国や他の自治体において取り組みが始められている。今後、制度導入による効果を検討し、先進事例などを調査研究をしていきたい。



星 宏子議員



外国人や帰国子女に対する児童生徒の日本語教室の充実について

問中学校に日本語教室は設置されていないが、設置する考えはあるか。

答教育長 中学生の段階で転入してきた外国人や帰国子女の中には、日常生活のレベルで、日本語に困っている生徒もいる。こうした生徒ののニーズに対応するため、今後、中学校における日本語教室の需要について検討していく。

人生100年時代を健康に生きる取り組み

問特定健診に眼底検査を追加する考えは。

答保健福祉部長 眼底部血管の状態を観察し、循環器疾患などの発症、重症化を予防するため、来年度からの実施に向けて制度設計を始めている。

問民間事業所と協力して健康インセンティブを導入する考えは。

答保健福祉部長 健康インセンティブは、健康づくりに無関心なひとに働きかける魅力的な方法の一つである。今後は、健康マイレージ事業に取り組む自治体の効果を検証した上で、導入に向けて検討していく。

問乳がん手術を受けた方用バスタイムカバー（入浴着）の周知方法は。

答保健福祉部長 バスタイムカバーについて市民の理解が深まるよう、市のホームページや広報などで啓発、周知を図っていく。





齊藤 誠之議員



本市の学校給食について

問本市の給食費については、各家庭から材料費のみを負担してもらっているが、共英学校給食共同調理場の新築により、市の財政負担が大きかった中で、給食費の変動などは起きないか伺う。

答教育部長 新調理場の建築に伴う給食費の変動はない。

保育士の処遇と保育の質について

問公立保育園における保育士の正職員、臨時保育士の人数について伺う。

答子ども未来部長 公立保育園 11 園における保育士の数は、平成 30 年 4 月 1 日現在で 298 人で、内訳は正規職員が 100 人、臨時職員については、フルタイムの職員が 88 人、短時間の職員が 110 人である。

問過酷な環境で保育士の仕事に対してやりがいとは何かを伺う。

答子ども未来部長 子どもの成長であると考えられる。

問処遇改善と保育の質についての関係をどう考えるか。また、保育士の処遇改善の施策で考えられることについて伺う。

答子ども未来部長 保育の質の向上を図るためには、研修などによる保育士のスキルアップのほか、保育士が子どもとしっかり向き合える時間を確保することが重要であり、保育士の負担を軽減させるなどの処遇改善がその方法の一つと考えている。



高久 好一議員



熱中症対策について

問記録的な暑さが続いたが、今年度熱中症やその疑いで救急搬送された市民は何人か。

答総務部長 那須地区消防組合で確認したところ、平成 30 年 8 月末現在 91 人。また、27 年度は 46 人、28 年度は 38 人、29 年度は 28 人だった。

問小中学校エアコン設置の進捗状況と使用基準は。

答教育部長 小学校 20 校のうち 8 校が設置済みで、残る 12 校も 9 月中に使用が可能となる。中学校 10 校は、来年度設置予定であり、現在設計を行っている状況である。エアコンの使用基準は、6 月から 9 月末まで、設定温度を 28 度としている。児童の状況を見て使用するようお願いしている。

緊急告知ラジオについて

問甚大な被害が出た西日本豪雨では、「防災無線が聞こえない」「存在すら知らない」という被害者の声が報道された。緊急時、自動的に電源が入る「緊急告知ラジオ」が約 100 自治体で配布されている。「緊急告知ラジオ」を配布する考えはあるか。

答市長 防災行政無線は、塩原支所管内のみで設置・使用している。設置当初から「聞こえない」との意見には、調整して対応して来た。防災情報は緊急エリアメールやみるメール、ホームページなどで対応しているが、今後新たな伝達情報体制構築の際には「緊急告知ラジオ」も含めより効果的な体制を検討していきたい。



小島 耕一議員



食育・地産地消の推進について

問市民の食事バランスが悪い要因は。

答保健福祉部長 主食、主菜、副菜のうち、野菜などの副菜が不足している例が多い。近年の研究成果によると、大腸内フローラの善玉菌が小腸の免疫機能をコントロールしており、善玉菌を増やすには、食物繊維と発酵食品の摂取が効果的と考えられている。

問野菜に加え発酵食品の摂取を推進する考えは。

答保健福祉部長 納豆は主菜として、ヨーグルトは牛乳、乳製品という枠組みの中で摂取するよう推進している。

問農業者が学校農園を支援し、農産物直売所が野菜や発酵食品の摂取をPRしている。食べ物を核として、健康長寿や教育の充実、農業や食品産業、観光の発展にむけて、ダイナミックな取り組みを期待するが、市の考えは。

答産業観光部長 食育の目的は、食を通じて健康と豊かな人間性を育み、活力ある社会の実現と考えている。貴重な意見として参考にする。

地域学校協働本部について

問これまで3地域で設置し、今後新たに設置する予定であるが、市の考えは。

答教育長 中学校区ごとに地域の実情が違うため、それぞれ地域の実情に合った形で子供たちを育てていく活動が大事と思っている。

問地域におけるお祭りや伝統芸能の取り組みは。

答教育長 今後、それぞれの地域学校協働本部の活動に組み込むことでさらに良い活動になると期待している。



議会だより編集委員会行政視察

10月1日、2日、青森県青森市と岩手県久慈市で行政視察を行いました。

青森市では、議会だよりの編集および発行について、久慈市では、SNSを活用した議会活動の発信と議会だよりの紙面づくりについて調査を行いました。

議会だよりをさらに充実したものとするため、今回の調査で学んだことを、生かして行きます。



議会運営委員会外部研修

9月28日、議会運営委員会主催の研修として、昨年7月以来行ってきた議会基本条例の検証について一般社団法人地域経営推進センター代表理事の中村健氏より外部検証を頂きながら講演を頂きました。

10月15日には、再度中村健氏をお招きし、今回の検証で課題となった、議員間討議、公聴会・参考人制度そして文書質問について、他市の事例を交え今後の取り組みへのアドバイスを頂きました。



Future

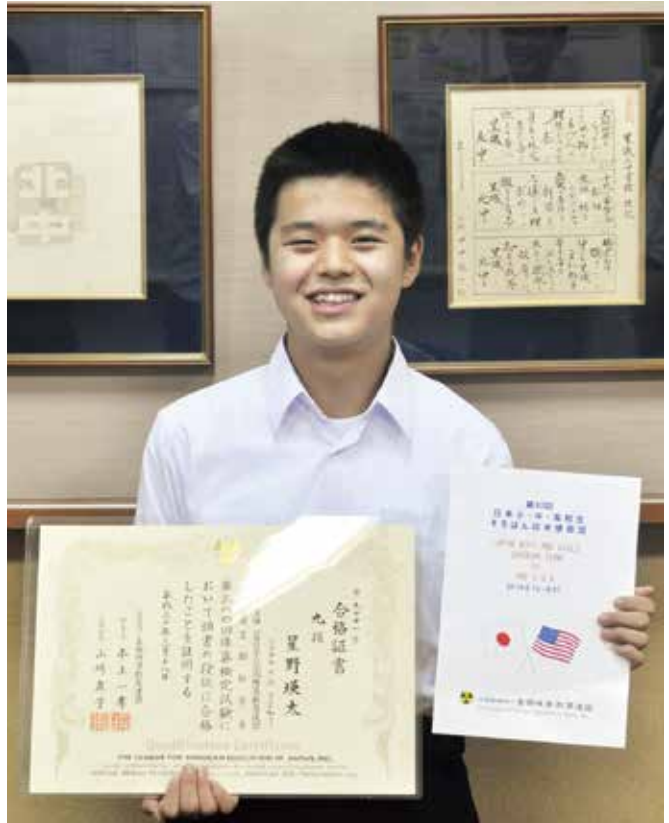
～わたしの夢～ No.5

黒磯北中学校1年

ほしの えた
星野 瑛太さん

将来の夢はそろばんの先生

母から「そろばんをやると、計算ができるようになり、算数が楽しくなるよ」と言われ、小学1年生からそろばん塾に通い始めました。初めは得意ではありませんでしたが、そろばんの問題を解く練習を毎日行い、2年生に進級する前には、大会で優勝しました。その後「全日本算盤選手権大会」などで実績を積みかさね、今年「日本小・中・高校生そろばん訪米使節団」としてアメリカの小学校を訪問し、そろばんを広める活動に参加しました。そろばんのおかげでアメリカに行く機会に恵まれ、素晴らしいことを習わせてもらっていると感じました。将来は、そろばんの先生か数学の先生になりたいので、これからもっと練習して行こうと思います。



那須塩原市議会だより
平成30年11月5日発行

議会からのお知らせ(抜粋)

11月

13 火 18:30～ 議会報告会(南公民館)
議会報告会(鍋掛公民館)
議会報告会(稲村公民館)

17 土 13:30～ 議会フォーラム2018
(東那須野公民館)

30 金 10:00～ 12月定例会開会予定日

12月

3 月 9:20～ 第11回議場コンサート

第11回議場コンサート

♪日 時
平成30年12月3日(月)
午前9時20分～45分

♪場 所
市役所本庁舎4階議場

♪演奏者
江刺由梨氏(バイオリン)



江刺由梨氏

♪演奏曲目
シンコペーション、エコール・
モダンエチュード・カプリース
作品10の5番他2曲

♪その他
入場無料



議会関係の視察件数

(平成30年8月～10月)

行政視察(議会関係)で本市を訪れた自治体を紹介します。

No.	日にち	来訪者	視察項目(取組内容)
1	8/8	宮城県気仙沼市	議会運営・議会活性化の取り組み
2	10/9	山形県山形市	議会運営・議会改革の取り組み
3	10/17	山形県鶴岡市	議会運営・議会改革の取り組み
4	10/18	静岡県藤枝市	議会改革への取り組み
5	10/29	富山県滑川市	議会改革の取り組みなど

編集後記

1年が過ぎるのは早いもので、今年も残り2か月となりました。振り返れば今年各地で多くの災害に見舞われました。被災された方々に対し、改めてお見舞いを申し上げますとともに1日も早い復興を願っております。さて、「ぎかいのひととき」も刷新されてから1年が経ちました。一人でも多くの人に、「ぎかいのひととき」を読んでもらうため、さらに皆様に親しまれるよう工夫をして参りたいと思っています。(星野 健二)

発行/那須塩原市議会 編集/議会だより編集委員会
〒325-8501 那須塩原市共聖社108番地2
Tel0287(62)7181 Fax0287(62)5378